

2026年9月16日				
時間	1日目	題名	演者	座長
9:20-9:30	開会	開会のあいさつ	渡邊 英二（日本PDA製薬学会）	
セッションA：モダリティーに対応した投与形態・製剤開発				
9:30-10:10	A-1	高容量化・高粘度化とCo-administrationの製剤を実現する次世代プレフィルドシリンジ	高橋 光（日本ベクトン・ディッキンソン）	
10:10-10:50	A-2	次世代シリンジベースオートインジェクターにおける高粘度バイオ医薬品の注入性の最適化	ノルベルト・ユング（イブソメット） アレッサンドロ・モランドッティ（ステバナート グループ）	
10:50-11:05	展示紹介		展示社の半数	
11:15-11:45	展示休憩		展示休憩	
11:45-12:25	A-3	状況に応じた薬剤送達システムの設計： 凍結乾燥薬剤送達とマイクロリットルスケール投与送達に関するケーススタディ	マルクス・パウス(エスエイチエル メディカル) 、ニルス・ロンクヴィスト(エスエイチエル メディカル)	
12:30-13:10	昼食（ランチョンセミナー）			
13:10-13:40	休憩＋展示			
セッションB教育講演（医療環境を巡る世界状況と多様化するモダリティについて）				
13:40-14:40	B-1	（薬物モダリティーについて幅広い視点から）	栄木 憲和（栄木コンサルタント）	
セッションC:モダリティーに対応した投与形態・製剤開発-2				
14:40-15:20	C-1	核酸医薬の次世代デリバリーにおける設計上の考慮点 - 高濃度SC製剤化とCNS直接投与（IT投与）を中心に	小泉 史子、竹中 智哉（武田薬品工業）	
15:20-15:35	展示紹介		展示社の半数	
15:35-16:05	展示休憩		展示休憩	
16:05-16:45	C-2	レカナマブ皮下注製剤の開発	櫻本 奈緒美（エーザイ）	
16:45-17:25	C-3	吸入製剤における処方とデバイスの統合 ―呼吸器疾患治療薬開発におけるデリバリー最適化戦略―	ミレイア・ブイグ（フィリップス・メディサイズ）	
セッションD：容器素材と規制対応				
17:25-18:05	D-1	仮訳:エラストマー部品と最新の規制要件:グローバルスタンダードへの対応（事前録画講演）	アナ・クシエル（ウエスト・ファーマシューティカル・サービス）	ブリギッテ ルーターヘレル（フェッターファーマ）
18:15-20:15	情報交換会			

2026年9月17日				
時間	2日目	題名	演者	座長
セッションE：ユーザビリティとリスクマネジメント				
9:00-9:40	E-1	ユーザビリティ（JIS T 62366-1）に関するご講演	関水 英正（PMDA 医療機器 基準課）	
9:40-10:20	E-2	「プロバイダー視点で“失敗しないHF”」	オン・ウェイリン（株式会社インテージヘルスケア） HanKook Research（ハンコックリサーチ）	
10:20-10:50	展示休憩		展示休憩	
10:50-11:30	E-3	臨床におけるコンビネーション医薬品のリスクマネジメント	永野 靖典（三楽病院）	
セッション：FIoT（電子情報）の利用				
11:30-12:10	F-1	先進的な自己注射:さらなる臨床試験の効率化と上市製剤への展開	ステファニー・ザイラー（イブソメット）	
12:15-12:55	昼食（ランチョンセミナー）			
12:55-13:25	展示休憩			
13:25-14:05	F-2	薬剤の安全な投与の実現に向けて	根本 絵里子（テルモ）	
セッションG：工程設計手法				
14:05-14:45	G-1	治験薬製造から商用生産まで -考慮すべきポイントとこれまでの経験からの学び	アーミン・ウィルフINGER（フェッターファーマ）	
14:45-15:15	展示休憩		展示休憩	
15:15-15:55	G-2	リダンダントろ過システムにおける収率改善へのアプローチ	花田 太一（メルク）	
セッションH：素材特性事例と容器試験				
15:55-16:35	H-1	新たな薬剤形態における複合製剤へのCOCカートリッジの採用に関する考察	クリストフ・ザウナー（ショットファーマ）	
16:35-17:15	H-2	コンビネーション製品向けCCITのストラテジーとソリューション	陳 文亮（PTI社）	
セッションI：Q&A				
17:20-17:50	I-1	Q&Aセッション	渡邊 英二（日本PDA製薬学会）	
17:50-18:00	閉会	閉会の挨拶	渡邊 英二（日本PDA製薬学会）	